

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年11月2日

上場取引所 大

上場会社名 エヌアイシ・オートテック株式会社
 コード番号 5742 URL <http://www.nic-inc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西川浩司
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 藤井透

TEL 076-425-0738

四半期報告書提出予定日 平成24年11月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	2,103	△33.2	6	△96.1	8	△95.0	3	△96.5
24年3月期第2四半期	3,149	124.5	172	—	174	—	100	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	64.54	—
24年3月期第2四半期	1,848.97	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	4,342	2,879	66.3
24年3月期	4,976	3,002	60.3

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 2,879百万円 24年3月期 3,002百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	1,200.00	1,200.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	900.00	900.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

24年3月期の期末配当金の内訳 記念配当300円00銭 普通配当900円00銭

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,542	△7.1	234	△12.8	238	△13.4	142	△7.1	2,606.03

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	55,000 株	24年3月期	55,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	511 株	24年3月期	511 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	54,489 株	24年3月期2Q	54,489 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、長引く円高による、輸出産業の収益性の悪化や国産品と輸入品における価格競争の激化に加え、欧米や新興国経済の減速、さらには近隣諸国との領土問題における摩擦拡大などで外需のけん引力が弱まる等、不透明な状況が続きました。

当社はこのような状況の下、海外拠点へ生産シフトを図る自動車業界へのF A装置等（F A：Factory Automation/「自動化・省力化装置」をいう。）の販売は、堅調に推移いたしました。その一方で、依然として低迷が続く半導体及びフラットパネルディスプレイ（以下「F P D」という。）業界への販売は伸び悩むこととなりました。

なお、営業基盤強化の一環として、東海地区における拡販及びサービス拡充を図るため、平成24年8月愛知県刈谷市に営業所（名称：アルファフレーム東海）を開設いたしました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は、2,103百万円（前年同期比33.2%減）となりました。利益面につきましては、営業利益は6百万円（前年同期比96.1%減）、経常利益は8百万円（前年同期比95.0%減）、四半期純利益は3百万円（前年同期比96.5%減）となりました。

以上のように前事業年度に大幅なV字回復した反動によって、前年同期比で減収となっておりますが、期初の業績予想との大きな差異はございません。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

[アルファフレーム部門]

アルファフレーム部門におきましては、「ALFA FRAME® SYSTEM（アルファフレームシステム）」の拡販ツールである「カクチャ™」及び「マーキングシステム™」を活用し、アルミニウム製構造材の付加価値を高めることで、競合他社と差別化を図った提案営業を継続的に展開いたしました。その結果、設計・組立工数削減の効果を活用される顧客が増え始め、第1四半期会計期間に引き続き、自動車部品製造関連企業向けの設備投資案件は継続的に受注いたしました。

なお、半導体及びF P D業界は引き続き低迷しており、今期中の回復は難しい状況ですが、来期に向けた設備投資に関連した開発・試作案件の受注が回復傾向にあります。

この結果、当部門の売上高は787百万円（前年同期比22.0%増）となりました。

[装置部門]

装置部門におきましては、当社の技術力を活かした質の高いF A装置の提案活動を推進いたしました。特に、海外拠点での生産強化を図る傾向を強めている自動車業界の自動車部品製造関連企業より、洗浄装置を中心としたF A装置等の売上が堅調に推移いたしました。特に、洗浄装置についてはお客様より高い評価を獲得し、第3四半期会計期間以降においても継続的な受注が見込まれております。

また、前年同期には大型機械設備案件の売上がありましたが、当第2四半期累計期間は同様案件の受注活動期間となったことなどにより、売上高は前年同期比で減少いたしました。

この結果、当部門の売上高は679百万円（前年同期比65.9%減）となりました。

[商事部門]

商事部門におきましては、工業用砥石、油脂類、工具・ツール等の消耗品の受注が堅調に推移いたしました。また、機械部品、自動車部品製造関連企業より複数の生産機械設備の受注を確保したことなどにより、売上高は伸長いたしました。

なお、第3四半期会計期間以降に繋がる生産機械設備投資案件の引き合いも増加しております。

この結果、当部門の売上高は636百万円(前年同期比23.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産・負債・純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ634百万円減少し4,342百万円となりました。これは主に、現金及び預金が569百万円、仕掛品が44百万円、投資その他の資産が46百万円、それぞれ減少した一方で、商品及び製品が19百万円、原材料及び貯蔵品が22百万円、それぞれ増加したことなどによります。

負債は、前事業年度末に比べ511百万円減少し1,462百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が300百万円、未払法人税等が110百万円、それぞれ減少したことなどによります。

純資産は、前事業年度末に比べ123百万円減少し2,879百万円となりました。これは主に、配当金の支払いが発生したことなどにより、利益剰余金が61百万円減少したことと、投資有価証券の時価評価により、その他有価証券評価差額金が61百万円減少したことによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比べ565百万円減少し、493百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期累計期間の444百万円のキャッシュ・インに対し、当第2四半期累計期間は474百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは、仕入債務の減少による資金の減少額300百万円や、未払消費税等並びに未払法人税等の支払いによる資金の減少額164百万円などの資金の減少があったことが主な要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期累計期間の342百万円のキャッシュ・アウトに対し、当第2四半期累計期間は26百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは、有形固定資産の取得による支出が11百万円、無形固定資産の取得による支出が3百万円、保険積立金の増加による支出が11百万円、それぞれあったことなどが主な要因であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期累計期間の43百万円のキャッシュ・アウトに対し、当第2四半期累計期間は65百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは配当金の支払いによる支出であります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成24年5月8日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

※ 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる損益への影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,063,305	493,889
受取手形及び売掛金	1,628,426	1,620,873
商品及び製品	127,334	146,866
仕掛品	181,276	136,503
原材料及び貯蔵品	213,857	236,424
その他	60,540	76,623
貸倒引当金	△153	△150
流動資産合計	3,274,587	2,711,030
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,443,349	1,444,149
減価償却累計額	△882,317	△899,469
建物（純額）	561,031	544,679
土地	456,904	456,904
その他	620,092	629,233
減価償却累計額	△449,529	△464,631
その他（純額）	170,562	164,602
有形固定資産合計	1,188,498	1,166,186
無形固定資産	18,856	16,314
投資その他の資産		
その他	496,114	450,075
貸倒引当金	△1,600	△1,600
投資その他の資産合計	494,514	448,475
固定資産合計	1,701,869	1,630,976
資産合計	4,976,456	4,342,006
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,433,320	1,132,549
未払法人税等	112,876	2,757
賞与引当金	39,322	38,162
製品保証引当金	21,417	15,909
その他	175,043	86,921
流動負債合計	1,781,979	1,276,300
固定負債		
退職給付引当金	133,002	135,047
その他	58,562	51,069
固定負債合計	191,564	186,116
負債合計	1,973,544	1,462,416

（単位：千円）

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	156,100	156,100
資本剰余金	146,100	146,100
利益剰余金	2,670,230	2,608,361
自己株式	△34,410	△34,410
株主資本合計	2,938,020	2,876,150
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	64,892	3,439
評価・換算差額等合計	64,892	3,439
純資産合計	3,002,912	2,879,589
負債純資産合計	4,976,456	4,342,006

（2）四半期損益計算書
第2四半期累計期間

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）	当第2四半期累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）
売上高	3,149,320	2,103,061
売上原価	2,549,325	1,678,346
売上総利益	599,994	424,714
販売費及び一般管理費	427,538	418,022
営業利益	172,455	6,692
営業外収益		
仕入割引	1,119	1,111
未払配当金除斥益	842	—
その他	724	1,009
営業外収益合計	2,685	2,121
営業外費用		
売上割引	—	36
手形売却損	143	—
その他	37	—
営業外費用合計	181	36
経常利益	174,960	8,776
特別利益		
受取保険金	4,387	—
特別利益合計	4,387	—
特別損失		
固定資産除却損	4,385	—
特別損失合計	4,385	—
税引前四半期純利益	174,961	8,776
法人税、住民税及び事業税	66,093	1,215
法人税等調整額	8,119	4,043
法人税等合計	74,213	5,259
四半期純利益	100,748	3,517

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）	当第2四半期累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	174,961	8,776
減価償却費	42,518	40,433
貸倒引当金の増減額（△は減少）	71	△2
賞与引当金の増減額（△は減少）	1,354	△1,159
退職給付引当金の増減額（△は減少）	4,765	2,045
製品保証引当金の増減額（△は減少）	14,799	△5,508
受取利息及び受取配当金	△190	△178
手形売却損	143	—
固定資産除却損	4,385	—
売上債権の増減額（△は増加）	△115,538	2,815
たな卸資産の増減額（△は増加）	△19,100	2,673
仕入債務の増減額（△は減少）	314,370	△300,770
未払消費税等の増減額（△は減少）	50,848	△52,220
その他	△21,982	△59,481
小計	451,409	△362,577
利息及び配当金の受取額	112	119
手形売却に伴う支払額	△143	—
法人税等の支払額	△6,616	△111,906
法人税等の還付額	1	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	444,762	△474,364
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△320,000	—
定期預金の払戻による収入	—	4,000
有形固定資産の取得による支出	△5,233	△11,831
無形固定資産の取得による支出	△3,316	△3,750
投資有価証券の取得による支出	△2,400	△2,400
保険積立金の積立による支出	△11,508	△11,508
その他	—	△535
投資活動によるキャッシュ・フロー	△342,459	△26,025
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△43,304	△65,026
財務活動によるキャッシュ・フロー	△43,304	△65,026
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	—
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	58,998	△565,415
現金及び現金同等物の期首残高	284,885	1,059,305
現金及び現金同等物の四半期末残高	343,883	493,889

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。

4. 補足資料

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第2四半期累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	生産高（千円）	前年同四半期比（%）
アルファフレーム部門	799,892	122.7
装置部門	679,289	34.1
合計	1,479,181	56.0

(注) 上記の金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

② 商品仕入実績

当第2四半期累計期間における商品仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	品目	仕入高（千円）	前年同四半期比（%）
商事部門	工業用砥石	79,625	95.9
	機械設備	240,244	249.7
	工具・ツール・油脂類	228,116	87.5
合計		547,986	124.6

(注) 上記の金額は仕入価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

③ 受注実績

当第2四半期累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	受注高（千円）	前年同四半期比（%）	受注残高（千円）	前年同四半期比（%）
アルファフレーム部門	733,378	112.4	81,630	197.3
装置部門	736,185	32.2	328,198	28.9
商事部門	605,838	109.0	289,618	185.1
合計	2,075,402	59.3	699,447	52.4

(注) 上記の金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

④ 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	販売高（千円）	前年同四半期比（%）
アルファフレーム部門	787,180	122.0
装置部門	679,289	34.1
商事部門	636,591	123.7
合計	2,103,061	66.8

(注) 1. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	当第2四半期累計期間		
	販売高（千円）	割合（%）	前年同四半期比（%）
株式会社不二越	225,750	10.7	119.6
キャノン株式会社	223,529	10.6	—
田中精密工業株式会社	212,569	10.1	160.5

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。